

～安全、安心なきゅうりを食卓へ～  
戸田 哲雄さん（西条市）

周桑農協の農業振興協議会、青年部小松支部  
きゅうり部会所属 1984 年生まれ



☆経営概況☆

冬春きゅうり(施設栽培 11 月定植)2,050㎡、夏秋きゅうり(露地栽培 7 月定植)15a、  
水稻 260a、麦 150a を家族 4 人(本人、父、母、妹)で経営しています。

父からは農業技術を多く教わり、母には自分以上に農作業をこなしてもらっています。  
両親は偉大だと思っています。

☆ここがポイント☆

**「自分がやるしかない」と決心し、専業農家に！**

大学院修了後、県内企業に就職していましたが、父の病気を機に、きゅうり栽培を中心とした専業農家を継ぎ、地域農業を守る担い手になることを決意しました。

きゅうりは、草勢を維持するため、整枝作業や肥培管理、病虫害防除をまめに行う必要があります。そのため、両親や営農指導員、普及指導員の意見を聞くとともに、県・市・JAが開催している講習会には積極的に参加し、栽培技術の向上に努めています。また、天敵を導入した栽培技術やハウス内の環境制御技術といった新たな技術も習得し、今後は、冬春きゅうりで反収 30t、夏秋きゅうりで反収 12t 以上を目標に技術を磨いていきたいです。

水稻と麦は、地域内で圃場整備が進められていることから、圃場整備後は栽培面積を増やしていく予定です。また、水稻で 600kg、麦で 400kg の反収が安定して得られるよう励みたいです。

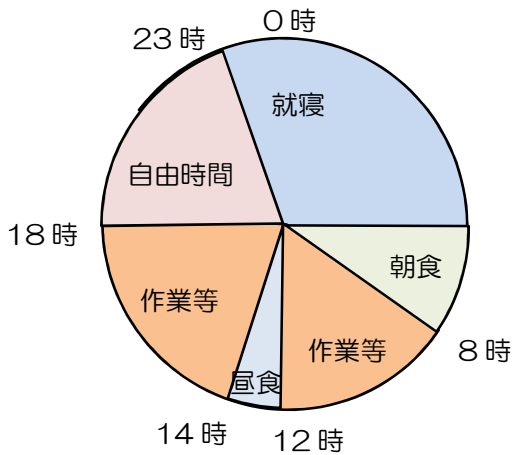


きゅうりの誘引作業中



きゅうりの幼果(開花)

### 【一日のライフスタイル（一例）】



### 【普段の生活について】

周年きゅうりの管理を中心に行い、水稻と麦栽培も行っています。

休日は特に日を設けているわけではないですが、農作業の状況に応じて半日単位で休みを取るようになっています。

余暇は、インターネットで便利な農作業道具を探したり、ネットゲーム等を行っています。



家族での作業風景



きゅうりハウスの全景(8棟)

### ☆これからの夢や目指すもの☆

農作業の効率化を図り、時間に余裕が持てる農業経営を行っていきたいです。また、肥料・農薬のコスト低減により収益性を改善するとともに、新しい農業技術等も積極的に取り入れ、さらなる所得向上を達成し、大きい家を建てるのが目標です。

### ☆メッセージ☆

会社勤めとは違い、人に対して気を使う必要がなくなります。ただし、手を抜けば病害虫等が発生して収量や品質が悪くなります。自分がやればやるほど見返りがあるのが農業の魅力です。何でもやればできるという意識をもって農業経営を行っていただきたいです。